



堀場製作所OB会

会報

通巻55号

発行日 令和7年6月20日

発行者 堀場製作所OB会

酒井 俊英

編集者 沢本 昌順

◆研修旅行

○一泊研修旅行 松江

ページ

2

◆HOVC 活動 ボランティア部会

○京都マラソンボランティア活動参加報告

4

○桂川流域クリーン大作戦参加報告

4

○鴨川クリーンハイク

5

○工房学習活動

5

○鴨川茶店ボランティア

6

◆行事報告

○春の懇親会

7

◆クラブ活動報告

○山遊会

8

○ボウリングクラブ

8

○カラオケクラブ

9

◆2025年会社ニュースピックアップ

○HORIBA Report 2024-2025 を発行

11

○京都大学とネーミングライツ契約締結

11

○HORIBA 万博特設サイトを公開

11

◆OB 会だより

○ホームページの紹介

12

○OB 会入会手続きについて

12

○新入会員紹介

12

○会報への寄稿について

12

○会員数

12

◆編集後記



大田神社

京都の上賀茂神社の700mほど東へ行ったら、大田神社（おおたじんじゃ）があります。

いつの年代にできたかは不詳であるが、上賀茂神社より古いとも云われています。現在は上賀茂神社の摂社となっている。摂社とは、本社の祭神と由緒の深い社のことです。

御祭神（神社に祭られる神）は「天鈿女命（あめのうずめのみこと）」。神話の天岩戸開きの際、岩戸の前で神楽をされた神である。祭典は4月10日（春祭）、11月10日（秋祭）、毎月10日は里神楽（チャンポン神楽）「大田神社巫女神楽（みこかぐら）」として京都市登録無形民俗文化財に指定されている。また里神楽とか、チャンポン神楽とも言う。

境内に大田ノ沢の杜若（かきつばた）の群落があります。毎年5月初旬、沢一面に濃紫色の花を沢一面に咲かせます。この沢は深泥ヶ池と同様、1万年以前からの湿原地帯の名残である。

平安時代に藤原俊成卿は「神山や大田の沢のかきつばたふかきたのみは色に見ゆらむ」と詠まれました。

昭和14年に国の天然記念物に指定されました。

開花の時期には、多くの観光客が訪れます。皆さんもぜひ訪れてみてください。

三橋 泰夫（記）

◆研修旅行

一泊研修旅行 松江

行程

【1日目】

京都駅八条口（集合）－京らぎ黒田店（昼食）－堀川ふれあい遊覧船（※1）－松江城（※2）－しんじ湖温泉すいてんかく

【2日目】

しんじ湖温泉すいてんかく－足立美術館－境港水産物直売センター（昼食、みやげ）－京都駅八条口

※1. 強風のため中止

※2. 倒木のため休館 代わりに松江歴史館とホーランエンヤ伝承館

【1日目】

京都駅八条口に集合の予定でしたが、JRが止まっているとの連絡がありました。JRによると、神戸線で人身事故のため、神戸線、びわこ線が運転を見合わせた、とのことでした。8時30分に運転再開後、やっと、列車が動き出しました。順次皆さんが到着され、全員が揃い、9時10分に出発しました。昼食場所の京らぎへ着いたのが、1時50分、予定より50分遅れでした。

京らぎで東京組と合流し、昼食をとりました。

堀川ふれあい遊覧船は、強風のため運航中止となっていました。予定を変更し、松江城－小泉八雲記念館としました。しかし、松江城も強風で倒木の危険性があるため休城？となっていました。再度予定を変更し松江歴史館へ行きました。

松江歴史館では文化・歴史展示がなされており、松江の人々の暮らしを知ることができました。



同時に、ホーランエンヤ伝承館も行きました。

ホーランエンヤとは、松江城内の城山稲荷神社の御神霊を船で運ぶ船渡御祭で10年に一度行われる祭りのことです。帰り道に、小泉八雲記念館へ入ろうとしたが、今度は16時30分を過ぎており、入館終了となっていました。結局、ここも入れないまま、今日の宿、しんじ湖温泉すいてんかくへ向かいました。すいてんかくは宍道湖に北側湖畔に面しており、いろいろな効能書きのある天然温泉です。宍道湖は宿の窓から見えていましたが、風は強くて白波が立っていました。



【2日目】



すいてんかくを後にし、足立美術館へ向かいました。足立美術館は、米国の日本庭園ランキングで連続受賞を続けている庭園です。入場すると、塵一つ落ちていないほど、よく手入れされた庭園が広がっていました。後ろの山を借景に、庭と山が連続し、人工の庭と自然の山とが融合して、美しさの感じられる庭園でした。



横山大観の作品が多く展示されており、美術館である理由がわかりました。



東京組とは境港駅で別れ、一路京都へ向かいました。途中の道では、冠雪のかかった大山が見え隠れして、私はシャッターチャンス待ちながら構えていました。



次に、境港水産物直売センターへ向かいました。ここで各自昼食をとり、みやげ物を手にしていました。



出発時からいろいろトラブルに見舞われ、先行きが心配された旅行でしたが、皆さんの知恵のおかげで、無事乗り切りました。

好天にめぐまれたのも幸いし、楽しい旅行となりました。

参加者(敬称略) 近田 伯久, 南井 加津雄, 酒井 俊英, 古澤 幸之, 湯浅 一郎, 野口 進治, 岡田 知二, 石黒 英憲, 横浜 正樹, 石川 達夫, 平野 彰弘, 田中 光子, 三橋 泰夫 の13名

三橋 泰夫 (記)



◆HOVC活動 ボランティア部会

京都マラソンボランティア活動参加報告



朝方雨が降っていた2月16日(日)開催「みんなが
主役 京都マラソン2025」にボランティアとして
参加しました。堀場製作所OB会より酒井さん、中村
(正)さん、北川さん、細川さん、沢本さん、宮下さん、
笠川の7名で、一条山越え(釣り池弁慶付近)9.25 km
から 9.41 kmの38班を担当。この地域にお住いの
細川さんから沿道の名所など説明いただきました。
私たちコース沿道整理係で集合してから説明を受け
てそれぞれの担当場所に資材(三角コーン等)運び
設置します。今回は林の中で脇道も少ないので簡単設
置でした。規制状態になり白バイの先導にてランナー
の団が現れると人・人・人の波が走って来られ、
それがいつまでも続きます。拍手で応援している手が
ジーンとしびれてきました。ようやく最後尾……。



大変寒い中でしたが、ランナーの方からのエネルギー
をいただき体も心もポカポカとなり、資材撤去後無事
に終了したことへ感謝して解散しました。

笠川 重美(記)

桂川流域クリーン大作戦参加報告



2月23日(日)開催「第十八回桂川流域クリーン大作
戦」に、酒井さん、中村さん、細川の3名で参加しま
した。当日は昨日の雪模様が快晴となり、開始時期に
は寒かった気温も上がり、風も無く作業しやすい天気
となりました。今回も京都信用金庫、建設組合等、
多くの団体、多くの参加者で行われました。



土手を降って、ゴミを拾うのは中々大変でしたが、
1時間もすると綺麗になり、良い運動になりました。

細川 浩司(記)



鴨川クリーンハイク



鴨川を美しくする会主催の第二回鴨川クリーンハイク 6月1日(日)に酒井、小川、石黒、中村(正)、岡田、岡田さんの友人(矢吹)、北川の7人で参加しました。明け方は京都市内が小雨で心配しましたが、その後雨は上がり、気持ち良い天気になりました。

9時に会長挨拶、松井京都市長のお礼と激励の挨拶がありました。五条から丸太町まで2.5km新緑ただよやかな清掃とハイキングをしました。回収したゴミは毎回の空き缶や、ペットボトルの外、シューズや期限切れの消火器があり、他のグループの人たちと和気あいあいと丸太町のゴールへ、90分かかる汗を掻いて終了しました。



鴨川クリーンハイクは年に4回開かれますので、是非皆さんも一緒に参加して季節を味わいませんか？

北川 光夫(記)

工房学習活動



5月23日(金)、令和7年度最初となる「生き方探求館」モノづくり学習支援[京モノレンジャー]活動に参加しました。堀場製作所より長松さん含め3名とOB会から酒井さん、森山さん、中西さん、沢本の4名が参加しました。今回は本社に近い西小路小学校4年生27名。最初に「工房学習」がスタート。生徒さんが順序通り作業され、私達がサポートをしながら温度計を組み立てていく。最後に乾電池を接続したら完成。実際に色々なサンプルも測定してみました。



学習の後半は「殿堂学習」。酒井さん、中西さん、沢本でサポート。京都に本社がある17社を子達と一緒に学び、「京都っていいね」をお土産に帰路についていただきました。

沢本 昌順(記)



◆HOVC活動 ボランティア部会（つづき）

鴨川茶店ボランティア



春らしい良い天気の日4月5日（土）と6日（日）に第五十一回鴨川茶店に参加しました。鴨川茶店は、鴨川を美しくする会と京都鴨川ライオンズクラブが主催で毎年桜の咲く府立植物園西側「なからぎの道」で開催されています。北大路橋入口付近の安全整理を堀場製作所OB会より5日4名（中村、石黒、宮下、笠川）6日3名（三橋、松村、北川）がボランティアで参加してきました。今年は桜が咲いて、春のお茶席にふさわしい情景になっていました。

今年もふれあい広場では、吹奏楽、騎馬隊との撮影会などの楽しい行事が行われ、華やかな雰囲気の中で沢山の観客でにぎわっていました。



私は、休憩時に紅白の幕で囲われたお茶コーナーで琴の演奏を聴かせていただきながら抹茶とだんごをいただきました。「花より団子」の気分になり、物産コーナーでお餅などを買いました。

安全整理では、騎馬隊の大型トラック（お馬さん用）とブラスバンドの楽器運搬トラックの駐車スペースを確保しておかなくてはならないのですが、例年植物園に来られた方が車を止めようとされますが、今年はスムーズに対応できました。

また、植物園の入口とか、近くの駅を聴かれるのでお答えする対応があるのですが、多くの方にご苦労様と声をかけていただき心に温かみを感じました。

次回も参加したいと思い、桜の花を見ながら北大路駅に向かいました。

笠川 重美（記）



6日はあいにくの小雨でしたが、開催が決定しました。吹奏楽、騎馬隊はなく、お茶席と琴の演奏のみでした。午後に雨が上がり、徐々に人出が増えてきて、皆さん桜を楽しんでおられました。

三橋 泰夫（記）

◆行事報告

春の懇親会



桜の花が残る4月12日(土)、「がんこ高瀬川二条苑」でOB会春の懇親会が開催されました(42名参加)。懇親会は小川さんの司会で始まり、酒井代表幹事挨拶、森口理事の会社状況説明、そして内山さんの乾杯にて開宴となりました。参加される皆さんの席は受付にて抽選で決まりますが、宴会が始まるとみなさん飲み物を持って移動され大いに盛り上がりました。今回も参加された方の中から近況を披露いただきました。



美味しい食事と沢山のお酒・ソフトドリンクをいただきました。皆さんとの楽しい時間は大変に早く過ぎ、宇野さんから中締めをしていただきました。懇親会では、皆様とお話しさせていただくとあの時代に戻り、いろいろな思い出が甦ります。今後もOB会では各種行事が企画されています。みなさんと楽しい時間を過ごしたいと思いますので、是非参加をお願い致します。 笠川 重美(記)



◆クラブ活動報告

山遊会

年月日 令和7年5月14日(水) 晴

山行先 御土居堀遺構探訪

参加者 丸山 博・中村 正博・宇野 久二男

・渡辺 正資・奥様・下川 和子・下川 博司

京都をよく知ろうということで、御土居堀遺構を散策することとし、京都市バス加茂川中学前バス停に集合。上賀茂神社の近くに住む三橋さんが自転車で様子をうかがいに来てくれた。今回は渡辺さんの奥さんがオブザーバー参加。なぜか集合時間になっても宇野さんが現れず、終点の西賀茂車庫まで行ったとのことで、引き返してくるのを待って9時20分北東隅に当たる史跡見学からスタート。

御土居堀は豊臣秀吉が朝鮮出兵の1年前、天正19年(1591年)に大規模な京都改造事業に取り組み、2~4か月のスピードで京都の町を御土居で取り囲んだ。総延長22.5km、これにより京都は洛中と洛外に分けられることになる。明治から大正にかけて京都の市街地拡大に伴い多くの場所で破壊が進んだため、昭和5年8カ所が国の史跡に指定され、昭和40年に1カ所追加された。次に大宮交通公園内の遺構を見る。ここは史跡指定はなく自由に登れる。玄以通りを西へ大宮土居町の史跡を見て、10時20分北西隅に当たる鷹峯の史跡に着いた。



ここで 最初の集合写真を撮り、向かいの饅頭屋(光悦堂)で鍵を預かりフェンスの中へ。名物の御土居餅でエネルギー補給をしてバス道を南へ。御土居史跡公園からは天神川沿いの御前通りをひたすら南下、紫野

西土居町を経て平野鳥居前町の史跡へ。道路際に御土居から出土した石仏が祀られていて風情を添える。北野天満宮の御土居一帯は青もみじ苑となっており、入園料1人¥500を支払い中へ。新緑の御土居を背景に2枚目の記念写真を撮り、木漏れ日の径を散策して12時30分史跡探訪を終了した。



天満宮の南今出川通りを挟んで一本うどんが名物の「たわらや」で昼食休憩の後散会した。

下川 博司(記)

ボウリングクラブ



ボウリングクラブ4月例会報告

堀場製作所OB会 オープンボウリングカップ 4月12日試合結果です。当日はHORIBAグループ出勤日のためか参加者は5名でした。祝77歳ボウリング大会で頂いた13ポンドの軽いボールが好調で毛利が久々の優勝です。平松コーチのドリルが素晴らしく、グロスアベ189でした。

ボウリングシャツ(名前入り)も頂きました。私より先輩でOB会ゴルフと掛け持ちの山田毅さんが2位でした。

順位 氏名 Net HD
優勝 毛利 隆文 597 10
2位 山田 毅 570 14
3位 平松 尚武 546 -20
4位 長澤 穰 501 -11
5位 中岸プロ 491 -31

世話役：毛利 隆文&田中 光子
連絡先：mouri@stage-kyoto.com
携 帯：090-3998-9933

毛利 隆文 (記)

ゴルフクラブ京都



カラオケクラブ



カラオケクラブ4月例会活動報告

4月26日(土)1時からカールさん(中村勝さん)紹介のヨーロッパ調ラ・ボエームで初開催しました。内山さん他総勢11名。久々参加の三橋さんからスタート。出だしからフォークソングで盛り上がり大川さん熱唱、毛利さん英語の歌披露。内山さん千曲川90才とは思えない声量。途中より袖ママ、森かれんさんも合流。中村(正)さん袖ママとデュエット、大いに盛り上がる中、中村(勝)さんよりHORIBAソングを披露。皆さん知ってました!? 堀場の歌男山尾さん、特別参加の松本さん、森かれんと熱唱が続き終了時間の5時となり、最後【青春時代】を合唱してお開きとなりました。

参加者:内山、毛利、中村(勝)、中村(正)、山尾、三橋、大川

特別参加:松本、森かれん、袖ママ

小川 征幸 (記)

第17回堀場製作所ゴルフコンペ開催(2025/4/18金)
まだ桜が咲いている信楽の滋賀カントリーで18名の方に参加いただき、第17回堀場製作所ゴルフコンペ(OBGC)が開催されました。

滋賀カントリーは距離が長く、高速グリーンの本格的なコースで皆さんスコアメイクに苦労しましたが、ゴルフカートのリーダーズボードの順位に一喜一憂、懐かしい顔ぶれと楽しい時間を過ごしました。

皆さんの成績ですが …

ニアピンホールで凄い集中力で毎回ワンオンする人や、ドラ短ホールで見事な明治の大砲打ちを披露してゲットする人や、ユーティリティで狙って5パットする人や、ドライバーは絶好調なのに2打目からはゴロを連発する人など、好プレー珍プレーが続出して大混戦となりました。そんな中で、倉原さんが淡々と落ち着いたプレーでみごと初優勝を飾りました。準優勝は宇野さんがOB会コンペの名物(優勝したら加算ハンディ)の洗礼で+4打となり、惜しくも2位になりました。3位は、毎日走っている早田さんが健脚を発揮して入賞しました。今大会では、内山さん、桐野さん、小菅さんから沢山の差入れをいただき、コンペを盛り上げていただきました。またゴルフ場からもお米やウナギなどの賞品を提供いただき、全員必ず一品を持って帰れる大判振る舞いの大会となり、皆さん満足して帰途に着かれました。

次回は、2025年10月24日(金)滋賀カントリーで開催を予定しています。

⇒成績順位は次頁に掲載(10ページ)

◆クラブ活動報告 (つづき)

<OB会コンペの成績順位>

優勝 倉原、②宇野、③早田、④河合、⑤土肥、⑥永井、
⑦佐々木、⑧向原、⑨小菅、⑩中村 (正)、⑪内山、
⑫桐野、⑬柳田、⑭三好、⑮山田、⑯大西、⑰ 上山、
⑱杉山

幹事： 上山 忠洋、中村 正博

東京カルチャークラブ (TCC)



国立科学博物館見学 (2025/4/4 金)

東京カルチャークラブの第 29 期の活動として、以前の企画で訪問した国立科学博物館を再訪しました。今回訪れた特別展「古代 DNA ー日本人のきた道ー」は、今年 3 月 15 日から始まった非常に興味深い内容で、NHK でも特集されました。

4 月 4 日金曜日、前日までの真冬のような天気が続いていたのが嘘のような好天に恵まれ、平日にも関わらず上野公園は満開の桜を楽しむ多数の観光客で賑わっていました。

上野公園横の特別展入口に集合した、新井さん、尾崎さん、横山さん、横浜さん、ナタリアさんご夫妻と私 (石川) 7 名で入場、その後自由見学で各自見学しました。

この展覧会では、古代 DNA 研究の進展によって解明されたホモ・サピエンスの複雑な歴史と、日本列島の集団の成立過程を紹介しています。

最新のゲノム解析と考古学研究をもとに、日本人のルーツと文化の変遷を探り、未来への示唆を提供する内容となっています。

これまでの DNA 研究では、母系遺伝のミトコンドリア

DNA のみを分析していましたが、2006 年に「次世代シーケンサ」が登場し、古人骨の核 DNA 解析が可能になりました。

核 DNA は両親から受け継ぐため、ミトコンドリア DNA よりもはるかに多くの情報を含み、性別や外見、遺伝的な特徴や疾患リスク、進化の過程や種間の関係などが詳しく分かるようになりました。

今世紀になって急速に発展したこのゲノム解析は、我々ホモ・サピエンスの起源とアフリカからの拡散の状況、これまで人骨の形態から類推されてきた日本列島集団の成立史、4 万年に及ぶ日本列島集団の成立のシナリオを、最新の考古学の成果と合わせて、非常にわかりやすく解説されていました。

好奇心を刺激された特別展見学後は、常設展の地球館、日本館も少しだけ見学できました。

約 3 時間の見学後、博物館出口のくじらの前で記念撮影を行い、東京駅へ移動。そこからは佐藤さんにもご参加いただき、丸の内で懇親会を行いました。



展示のインパクトが非常に強く、我々の非常に遠い祖先の話、アフリカからの拡散の話、展示内容とは直接関係ありませんが、千葉県市川市の縄文時代の集落跡から 5 体の人骨が発見され、5 体の関係 (親子、兄弟、親戚等)、生活様式が解明されているなどのアカデミックな話題で盛り上がりました。

石川 達夫 (記)

下記 QR コードから
詳細をご覧ください

○「HORIBA Report 2024-2025」を発行



財務諸表に載らない企業文化を紹介することで HORIBA のさらなる価値をご理解いただきたいというおもいから、事業や財務情報と共に、財務諸表に載らない資産（見えない資産）についてアニュアルレポートと CSR 報告書の情報をまとめた統合報告書です(2013年版から作成)。最新版では、2024年2月に公表いたしました中長期経営計画「MLMAP2028」における事業、人財、サステナビリティの3つの戦略とその進捗を詳しくご紹介する1冊となっています。冊子で紹介しきれなかった HORIBA の「見えない資産」、特にサステナビリティ関連の詳細情報は、HORIBA ウェブサイト「サステナビリティ」のページに掲載しています。



○京都大学とネーミングライツに関する契約締結



堀場製作所は京都大学と京都大学国際科学イノベーション棟5階（西館）に位置するシンポジウムホールのネーミングライツに関する契約を締結。2025年4月から2028年3月までの契約期間中、シンポジウムホールの愛称は「HORIBA シンポジウムホール」となります。HORIBA シンポジウムホールが、さまざまな会議や講演会、シンポジウム、式典などの開催や、産官学における情報交換の場として広く活用され、多彩なアイデアとコミュニケーションが生まれる場であり続けることを期待します。なお、堀場製作所は過去に本シンポジウムホールで堀場雅夫賞授賞式を開催しており、本年10月にも同賞授賞式の会場として使用する予定です。



○「HORIBA 万博特設サイト～はかるのみらい～」を公開



提供 株式会社堀場製作所

HORIBA は大阪・関西万博のシグネチャーパビリオン「いのちの未来」に協賛しています。サイト「HORIBA 万博特設サイト～はかるのみらい～」を開設しました。本サイトで大阪・関西万博に向けて新たに開発した堀場製作所グループ独自の「はかる」技術と開発者のおもいや当社プロジェクトの舞台裏などを紹介しています。万博や「いのちの未来」パビリオンを本サイトで初めて知る方はもとより、すでに万博へのご来場を予定されている方にも、本サイトを通じて万博に一層の期待感をもっていたいただきたいと思います。また、本サイトを通じ、堀場製作所グループが掲げるビジョン「Joy and Fun for All おもしろおかしくをあらゆる生命へ」と、シグネチャーパビリオン「いのちの未来」のメッセージに共通するおもいを感じていただければ幸いです。



◆OB会だより

ホームページの紹介

各種行事をはじめ、クラブ活動やHOVC、会報など、記事の検索性が向上し、とても見やすくなりました。また、動画も掲載出来る様になりました。



◎旅行の感想 ◎地域での活動 ◎地域の祭り
◎地域 の名所・旧跡の紹介 など

身近なテーマを気軽に寄稿願ひ致します。

会報への寄稿文、ホームページへのクラブ活動、ボランティア活動等の諸活動報告をされる場合、おおむね次の文字数でお願い致します。

◆会報へ寄稿文 150文字程度

◆ホームページへの活動報告 800文字以程度

◆写真は必ず1~2枚添付ください。

◆寄稿は10月末、4月末を目途に提出願ひします。
会報は年2回発行します(6月、12月)。

◆著作権について

- ・書籍から引用の時は出典を明記してください(発行元、書籍名、著者)。
- ・新聞からの文面、写真の引用は新聞社の承認を必ず得てください。

◆活動報告は行事終了後、直ちに報告願ひします。

◆会報への投稿には記念の品を進呈させていただきます。

◆送付先 会報事務局編集責任者 沢本 昌順

メールアドレス horiba.ob@gmail.com

〒601-8510 京都市南区吉祥院宮の東町2

堀場製作所OB会 会報事務局宛

OB会入会手続きについて

堀場製作所OB会に入会ご希望の方は、「入会のお誘い」記載内容をご確認の上、「入会申込書」に必要事項をご記入し、メール添付又は、郵送にてOB会事務局宛にお送りください。メールの宛先は”horiba.ob@gmail.com”です。事務局受付後、入会費、年会費振込用紙を送付させていただきますので郵便局より振込んでください。



ご不明な事は、OB会事務局にお問合せください。事務局宛先等は「入会のお誘い」にも記載されています。

新入会員紹介

29期に入って入会された方々(敬称略)

樽井 克泰、神崎 豊樹、山口 哲司、西脇 高子、木嶋 章、内ヶ島 美岐子、井上 香、山下一博

会員数

会員数 279名 (2025年6月10日現在現在)

会報への寄稿について

会報に掲載する寄稿文を募集しています。テーマは特に決めていません。

編集後記

大阪・関西万博が開催されました。事前情報が乏しく、予約手続きの煩雑さもあって腰が重かったですが、行けば都。やっぱり万博は楽しい。梅雨が明けると熱い夏が予想されますが、大屋根リングの下は日影となり意外と涼しく、複数の国が入るコモンズパビリオンは空調が効いていて快適です。夕刻からは団体客が減りだし、気温も下がりだすので狙い目だそうです。(沢本昌順 記)

※チケット購入や予約、事前情報などは公式ホームページを参照ください。



ぜんぶのいのちと、ワクワクする未来へ。
Towards a brighter future for all

開催 2025年4月13日(日)-10月13日(月) 開催 大阪 夢洲(ゆめしま)
Period Sunday, 13 April to Monday, 13 October 2025 Venue Yumeshima Island, Osaka City